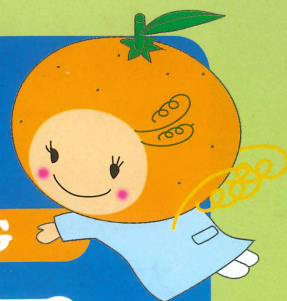
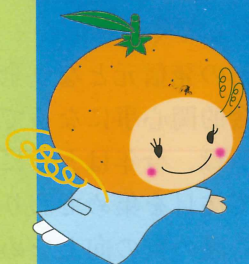









MIE PREFECTURAL COLLEGE OF NURSING



# MCN REPORT

Vol.21 2014.3



 あいさつ	1ページ
 トピックス	2ページ
 大学の動き	3ページ
 学生生活・支援事業	7ページ
 卒業生訪問	9ページ
 お知らせ	11ページ
 クラブ・サークル活動紹介	13ページ

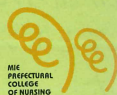
## トピックス

- 学長講演「地域医療において良質な看護を提供するための看護者の役割とチーム医療」** 2ページ
- 認定看護師教育課程「感染管理」修了式** 2ページ

## シリーズ

**卒業生訪問**

9～10ページ



三重県立看護大学  
MIE PREFECTURAL COLLEGE OF NURSING

大学マスコット  
キャラクター  
「みかんちゃん」

### 大学教育の質向上をめざしてがんばっています！



平成25年度も残り少なくなってきました。前回のMCNレポートで、今年はいろいろな方面からの大学評価受審の年と書きましたが、本当に今年の大学は評価、評価の一年でした。平成21年4月に本学は

地方独立行政法人化しましたので、今年は第一期中期目標・中期計画の中間総括の年でした。また大学基準協会から、大学としてのレベルを評価（認証評価）してもらう年となり、3回目となる認証評価を受けました。さらに平成26年1月にはISO14001の認証更新のために、審査を受けました。これら多くの評価を受け続けるのは、つねに大学教育の質向上をめざして、最良の教育環境を用意し、優秀な学生さんに入学していただき、質の高い教育を行い、結果として質の高い看護実践家を育成するという本学の使命があるからです。

開学15周年の記念事業の一環として図書館の中に開館しました附属看護博物館は、平成25年の秋には新たなテーマでの展示物となりました。ご家族様、身近な方々にもお声をかけていただき、装いを新たにした附属看護博物館にぜひいらしてください。

また本学の男性看護教員が最初の発信元となり全国規模まで拡大し、今大きな社会的関心事になっています男性看護師会（ナースマン）は、今年はとくに多くのメディアで取り上げられて注目を集めております。これらもつねに、本学が看護の質の向上をめざし、時代を読んでしっかりニーズに対応する人材育成を心がけているからだと考えます。

本学が、今後ますます充実、発展していけるよう教職員一同さらに努力していきます。後援会の皆様、卒業生の皆様、引き続きご支援のほど、よろしくお願いいたします。

### 後援会会長あいさつ

### 市川 稔



こんにちは、後援会長の市川です。「光陰矢の如し」とはよくぞ申したもので、瞬く間に4年

間が過ぎ去ろうとしています。この間、私は何の成長も認められませんが（笑）、大学は、学生は、そして先生方は会う度見る度に大きくなってきているのには驚かされます。毎度思うことです

が、見えるところでの学生たちの頑張りぶりで見えないところでの先生方の奮闘ぶりには本当に感服させられます。

私たち後援会はこうした本学を下支えし、応援していきたいと考えています。本年も引き続き、本学後援会が実施する各種事業に対しまして、本学に係る皆様方の格別のご理解、温かいご協力を宜しくお願い申し上げます。

### 三重県立看護大学・こころの医療センター連携協定締結1周年記念

## 「若者のメンタルヘルス・ファーストエイド」を開催しました。

平成26年2月1日（土）、本学とこころの医療センターが連携協力協定を締結して1年になることを記念し、シンポジウムを開催しました。

第1部では、「若者の自殺対策シンポジウム」として、こころの医療センター栗田弘二臨床心

理士を座長に本学船越明子准教授、こころの健康センター出口理恵保健師、総合医療センター奥田美香急性・重症患者看護専門看護師、こころの医療センター前川早苗精神看護専門看護師がそれぞれの立場から発表した後、若者の自殺予防のためには関係機関が連携することの重要性が語られました。

第2部では、連携協力協定に基づくこの1年間の取組について大学とセンターそれぞれからの発表後、村本淳子学長から「臨床と大学が連携する意義」としてお話がありました。



# トピックス

## 学長講演「地域医療において良質な看護を提供するための 看護師の役割とチーム医療」

地域医療における看護師の役割を考える講演会が12日、三重県尾鷲市上野町の尾鷲総合病院であり、同病院や御浜町の紀南病院の看護師や医師ら60人が聴講した。

恒常的な人員不足に悩む東紀州地域の医療機関での看護の質の向上につなげようと、尾鷲総合病院が主催。県立看護大の村本淳子学長(62)が講師を務めた。

村本学長は、県内の人口10万人当たりの看護職員数は全国で38番目と低い水準にあると指摘。その上で「人員が少ない分、看護師の質を高める必要がある。看護師には患者の食事、睡眠、排せつなど生活の細やかな状態を把握し、容体の変化に合わせて的確な判断が求められる」と述べた。

地域医療では、その地域の文化や風習、コミュニティーを意識した看護が必要だと説明した。「さまざまな分野で専門性の高い能力が求められるゼネラリストであると同時に、その地域の専門家でなくてはならない」と話し、地域医療に携わる看護師の心構えを説いた。(平成25年11月13日 中日メディカルサイトより 宮崎正嗣)



左：野間由美さん(卒業生)、右：村本学長  
(11/12 尾鷲総合病院にて)

※この記事は中日新聞社の許可を得て転載しております。

## 認定看護師教育課程「感染管理」修了式

平成26年2月28日、認定看護師教育課程「感染管理」の修了式を挙げる事ができました。また、修了生とその上司の方、学外講師の方、先輩などとともに交流会も開催することができたので、意義深い修了式となりました。

修了生30名は、学長や御来賓各位からの祝福と激励のおことばを胸に刻み、元気よく巣立っていきました。今後、修了生は日本看護協会の認定審査(平成26年5月20日(火))を受け、感染管理認定看護師という資格認定(平成26年7月頃)を頂いて活動していく予定です。

当教育課程は次年度から休講となりますが、開講していた3年間において、誰一人と欠けることなく90名の修了生(三重県の病院所属34名)を送り出すことができました。この90名が、三重県を中心にネットワークを構築し、全国の医療現場において最適な感染管理を展開してくれると思っています。





# 大学の動き

## 大学ホームページリニューアルについて

12月24日(火)に本学ホームページを全面リニューアルしました。

従来のものとは比べ、全面的にピンクを基調とすることで華やかさが加わり、学生やイベントの写真も多く掲載され、「みかんだい」をよりイメージしやすいものとなりました。

また、「レスポンスブル」という最新のWebデザインを取り入れることでスマートフォンでも不自由なく閲覧が可能となっております。

本学の新しいホームページを是非ご覧ください。



## 三重男性看護師会から全国男性看護師会へ

平成24年11月に三重県内の男性看護師が中心となり「三重男性看護師会」を発足し、今年で2年目となります。平成25年度は、8月に看護職を目指す男子高校生と男子看護学生を対象に、現役男性看護職者とのトークセッション「集え！未来に輝くナースマン！男性看護師と将来について語り合おう！」を開催しました。そして、11月には「あらためて男性看護師を考えるーより良い看護を創るためにー」とのテーマで第2回講演&シンポジウムを開催し、三重県内の看護職者だけでなく北は北海道、南は九州から100名を超える参加者がありました。さらに、本会の活動を新聞や看護系の雑誌、NHKで取り上げていただきました。

平成26年度からは三重県立看護大学に事務局を置き、「全国男性看護師会」として今まで以上に本会の活動を発展していきたいと考えております。平成26年度の企画も固まってまいりましたので、より多くの皆様とともに活動できましたら幸いです。引き続き本会の活動にご協力いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。



## 認知症ケア看護師養成研修のお知らせ

地域交流センターでは、認知症ケア看護師養成研修を実施します。

開講時期：第1回目：平成26年7月～平成26年9月 月2回(第1・3土曜日)9時～16時

第2回目：平成26年10月～平成26年12月 月2回(第2・4土曜日)9時～16時

※研修内容は、1回目、2回目同じです。

募集人数：40名程度(1回目、2回目ともに)

連絡先：三重県立看護大学地域交流センター 担当：阿部

TEL：059-233-5610 e-mail：rc@mcn.ac.jp

募集等については  
4月以降に別途ご案内  
させていただきます。

## 教育懇談会

9月14日(土)に教育懇談会を開催しました。昨年度を上回る110組以上の保護者の方にご参加いただきました。全体での大学に関する説明会の後、個別面談を行いました。参加者の皆様からは、「学内の様子がよく分かった。」「子どもの勉強について悩んでいたがアドバイスをもらい大変参考になった。」という声をいただきました。皆様のご意見を参考に、今後も教育内容の充実に努めてまいります。



## 平成25年度 臨床教員意見交換会

本学では、平成21年度より臨床教員制度を導入し、実習協力機関の優れた看護実践能力および教育能力を有する看護職者に臨床教授等の称号を付与することにより、指導体制の充実に努めています。臨床教員制度の成果と課題を明確にし、今後の方向性と展望を見出す機会とするため、平成26年1月27日(月)に臨床教員5名の皆様にご参集いただき「平成25年度臨床教員意見交換会」を開催しました。今後、臨床教員の役割の明確化と本制度のさらなる周知を図り、大学と臨床の連携を強化していくことを確認しました。



## 三重県内病院(施設)看護管理者の方々との意見交換会について

本学では、例年、看護・介護の第一線でご活躍されています看護管理者の方々をお招きして本学の看護教育等の取り組みの説明と意見交換を行っています。

平成25年度は9月25日(水)に県内25病院(施設)の看護管理者の方々に参加いただき開催しました。当日は、学長より「臨床実習における指導者の役割と学生の学びについて」お話をしました。また、地域交流センター事業、大学院教育、卒後教育などに関する取組についてご説明いたしました。意見交換の中では、認知症看護の教育など本学の取り組みに期待する意見などをいただき、今後の本学の方向性を考える上で有意義な意見交換会となりました。





# 大学の動き

## 平成25年度 第2回公開講座

10月19日(土)に平成25年度第2回公開講座を開催しました。

当日は、243名の方にご来場いただくとともに、テレビ会議システムを使用して三重県立総合医療センターにも講演の様子を配信しました。

第1部は、「身近な人に認知症がはじまったら…」と題した講演で、全国高齢者ケア協会監事である五島ズズ先生にお話をいただきました。認知症を予防するためには規則正しい生活リズムやバランスのとれた食生活、楽しく前向きな生活が大切であること、在宅ケアを支える介護者の好ましい接し方、協力者の必要性などについて具体例をもってお話いただきました。会場を訪れた参加者は熱心に聞き入り、様々な質問や意見をいただきました。

第2部は、伊勢市在住のカナダ人落語家、桂三輝さんによる落語でした。笑いは健康につながるものです。楽しいお話に、会場は大いに盛り上がりました。



## 平成25年度 第3回公開講座

平成26年2月22日(土)に平成25年度第3回公開講座を開催しました。

第1部は、梶吉宏先生指揮の三重ジュニア管弦楽団によるコンサートでした。県内の小学4年生から高校3年生の楽団員(27人)によって、ヴィヴァルディの「四季」など2曲を演奏していただきました。

第2部は、三重県臨床心理士会副会長の志村浩二先生による講演で、「思い出してみよう！子どもの頃」というテーマでお話いただきました。幼い子どもは、自分の思ったことや感じたことをそのまま絵などに表現し、それを大人が褒めてやることで子どものやる気は向上する。また子育ては大変なものであり、それを母親だけの責任にしないこと、自分自身をほめる材料をみつけて自分にご褒美をあげる

こと、そしてそんな気持ちが子育てにとってとても大切であることなどが話されました。



## 外国人の健康相談事業

平成22年度より、外国人を対象とした健康相談事業を学生ボランティアと共に行っています。今年度は7月に、「ブラジル一日移動領事館」が開かれたアスト津で、身体計測、血圧測定をし、その後、通訳にお願いいただき個別に健康相談を行いました。日本語は片言という方が多い中、学生たちは笑顔とボディランゲージで対応しました。2月には三重県国際交流財団との共催事業として鈴鹿市で実施するほか、ブラジル人学校でも身体計測を実施しました。



## 癒しのハンドマッサージ



本事業は、日々の生活や介護などで疲れている方や、疲労感を感じているシルバー世代の方を対象に、タクティールマッサージによる癒しの効果を実感していただくことをねらいとして行っております。今年度は10・11・12月に各1回開催し、シルバー世代の方や医療職者の方など計20名の参加がありました。実際に体験して「リラックスできた」「手が温かくなった」「家族や友人にもやってあげようと思った」などの感想をいただきました。

## 身に着けよう！フィジカルアセスメントの知識と技術

臨床看護師30名を対象に『フィジカルアセスメントの知識と技術を身に着ける』ことをねらいとしたセミナーを計画したところ、多くの方から応募がありました。

セミナーは3日間のコースで、10月には「フィジカルアセスメントの基礎知識、基本技術」、11月には『「筋・骨格、神経系、腹部」のアセスメント』、12月には『「呼吸器、心臓・血管系」のアセスメント』について、お互いの身体やシュミレーターを用いた実践的な学習をしていただきました。



## アイリッシュクリスマス

クリスマスを2週間後に控えた12月8日(日)、地域住民の方々25名と本学学生、教員が一緒になってアイルランドの伝統的なクリスマス菓子であるクリスマスプディングを作り、食しました。異文化に触れながら、子供から大人まで、美味しく楽しいひと時でした。



## サンバレー 健康広場

11月16日(土)、17日(日)にイオン津南ショッピングセンターサンバレーホールで「三重県立看護大学 健康ひろばから家族みんなで健康チェックしてみよう～」を開催しました。今年度も大勢の方にご来場いただきました。



# 学生生活・支援事業

## 本学4年生、学会にて優秀賞を受賞！

11月2日(土)、日本人間工学会東海支部2013年研究大会が、愛知県名古屋市の椋山女学園大学にて開催されました。本大会は、東海地区のみならず全国からも多数の参加者があり、32演題の研究発表がありました。大会では、教員や企業の研究者の他、各大学の学部生や大学院生18名がそれぞれの卒業論文や修士論文の研究内容を発表しました。大会では、学部生と大学院生を対象に、審査の上優れた発表に「高田賞」(最優秀賞1名、優秀賞5名)の授与をしていますが、本学から4名の学部学生が優秀賞を受賞することができました。学生は、初めての学会発表であり不安と緊張で一杯でしたが、堂々と発表を行い、春からの努力が実り、充実した1日でした。

### 優秀賞受賞者：

- 4年生 神谷 菜月「医療現場における心肺蘇生の特性の検証」
- 下村茉里奈「胸骨圧迫時の術者の下肢固定の重要性の検証」
- 長谷川祥子「月経周期がメンタルワークロードにおよぼす影響」
- 前田美由希「月経周期が疲労感におよぼす影響」

## 「三重の学生！ゆめトーク」放送について

NHK津放送局の番組「三重の学生！ゆめトーク」に本学学生14名が出演して、夢を語りました。

11月に本学実習室などで取材・撮影が行われ、学生から、大学の紹介を交えながら、それぞれの将来の夢を話してもらいました。収録内容は12月から3月に掛けてNHK津放送局の1分間の番組として随時放送されています。



## 国際交流 ～マヒドン大学生の研修受け入れとUCLA教員の招へい



4月8日(月)から2週間、マヒドン大学の3名の学生が、本学で研修を行い、教員の講義や県内保健医療施設の見学を通して、日本の保健医療や看護について学びました。また、学生主催のパーティや、日常の学生生活などを通じて、本学の学生との交流を深めました。

9月9日(月)には米国カリフォルニア大学ロサンゼルス校(UCLA)の6名の教員に来学いただき、学内でシンポジウムを開きました。米国の最新の保健医療や看護を学ぶとても貴重な機会となりました。



## 卒業研究報告会

12月23日(月)に卒業研究報告会が開催されました。村本学長から卒業研究がスタートとなる看護研究継続の大切さについて開会の挨拶があり、その後5会場に分かれて学生一人ひとりの発表が行われました。1年間を通じて取り組んだ研究は、いずれも4年間の締めくくりにあふさわしいものでした。各会場では、発表を行う4年生だけでなく、研究にご協力いただいた病院・施設からもご参加くださり、熱い討論がなされました。来年度卒業研究を履修する3年生もほぼ全員が参加し、卒業研究のバトンが4年生から3年生に渡されました。



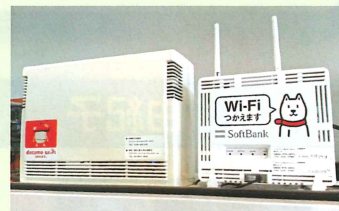
## 大学院修士論文発表会

平成25年度の「修士論文発表会(後期)」は、1月15日(水)に開催されました。修士論文発表会は学位論文の公開審査の役割を持ちます。3名の発表者の方々は、緊張した面持ちでしたが、職場や家庭そして大学と様々な人々に支えられてきたことをバネにしながら、研究成果を発表しました。会場からは、研究に関して多角的な質問が出され、有意義な発表会となりました。先輩の発表を聴いた在院生にとっても、貴重な時間となったようです。



## Wi-Fiスポットの設置について

附属図書館や学生ホールをはじめとした学内の各所に、NTTドコモ、ソフトバンク及びauのWi-Fiスポットを設置しました。各社のスマートフォンやタブレット端末等で同サービスに加入されている方は、Wi-Fiスポットを通じて高速インターネット通信が利用できます。また、学生だけでなく教職員や図書館を利用される皆様も利用が可能となっています。



今後より快適な学習環境を提供するため、IT基盤の整備に努めてまいります。

## 保健室便り

平成25年度より、新しく保健室管理の図書の貸し出しを始めました。

今まで知る人ぞ知る状態だった保健室とカウンセリングルームに置いてある本を、もっとみなさんに活用してもらおうと考えています。内容は、闘病記、生や死や病を考えるもの、発達障害、摂食障害について、また癒しの言葉のつまった絵本など、200冊以上あります。充実した毎日を送るヒントが見つかるかもしれません。

一覧表は保健室に置いてありますので、興味のある方は、是非一度見に来てくださいね。



## ～生協からのお知らせ～

三重県立看護大学生生活協同組合は平成25年で「創立10周年」を迎えました。

学生の皆さんの要望にお応えして、「人気メニュー」の特売日を実施したり、食堂利用者全員に「三重県産みかん」をもらってプレゼントしたりしました。

また、「文庫・新書・雑誌の15%割引セール」「アイスクリームの特売」も実施しました。

今後も、学内の様々なご要望にお応えできるよう精進いたしますので、ご指導・ご鞭撻をお願い申し上げます。



# 卒業生訪問

三重県立看護大学の卒業生をご紹介します。どのように就職先を選

## 草川 明日香

## 市立四日市病院



平成22年度卒業  
現在看護師4年目  
呼吸器内科

私がこの病院に就職しようと思った理由は、私の家族が入院したことで身近に感じた事、病院見学やインターンシップに参加し病院で働くスタッフの雰囲気がとても良く、看護部の理念にある「やさしさ」が伝わってきたからです。新人として小児科病棟へ配属され、小児の急性期疾患を学ぶことができ、先輩看護師さんに優しく指導していただきました。元気になっていく子どもの姿に癒しをもらい、笑顔の絶えない病棟で働くことができました。看護師4年目になり現在は呼吸器内科に所属していますが、対象が小児から成人へと変わり成人の技術を1からの勉強で、初めは上手くできず辛いこともありましたが、呼吸器内科で働き始めて1年経ちますが、今では化学療法など繰り返し入院してくる患者さんなどと楽しく話しながら仕事をし、チーム内では患者さんの方向性を話し合い、より良い看護ができるよう努めています。

それぞれの病棟には特殊性がありまだまだ学ぶことがたくさんありますが、患者やその家族との信頼を築いていくことはどこの病棟も同じだと思います。新人の時に先輩からいただいた「自信を持って」という言葉、笑顔を忘れず、信頼される看護師を目指して頑張りたいと思います。

### 看護部からの一言

市立四日市病院は、北勢地域の中核病院として、安全、安心で良質な急性期医療を提供しています。当院では、病院機能の充実と療養環境の改善を図るために平成22年度より病棟の増築・既設改修工事を行っていましたが、平成25年12月には、すべてが完了し稼働しています。

看護部では、やさしさ・信頼を理念に人間としての尊厳と権利を尊重し、患者さんや家族及び地域の方々の幸せを願う確かな知識と安全な技術により質の高い看護を提供しています。

新人研修制度も充実しており、平成26年度よりe-ラーニングを導入し、より一層新人教育に力を入れています。「どこに出しても恥ずかしくない1人前の看護師」に育てあげ、看護師になって良かったと感じて頂ける様サポートすることをお約束します。草川さんは卒業後4年目になります。物静かな中に芯の強さを持っている信頼のおける将来に期待が出来る看護師です。

## 木村 由紀子

## 松阪市民病院



平成13年度卒業  
現在看護師13年目  
緩和ケア

松阪市民病院は平成20年1月に緩和ケア病棟を設立しました。私は学生のころから終末期ケアに関心があったため、その分野に携わっていきたく希望し、設立当初より緩和ケア病棟で働いています。緩和ケア病棟で終末期のがん患者さんと向き合っている中で時には悩みながらも、患者さんに深くかかわることで看護のもつ力を実感しています。そして、患者さんから受け取る「あたたかいもの」が私の看護師としてのモチベーションにつながっています。

職場は子育てをしながら働いている人が多く、ワークライフバランスにも取り組んでいるため、家庭を持ちながらでも働きやすい環境です。私はがん患者さんに早い段階からの関わりが必要であると感じ、もっと学びたいという思いもあり大学院に進学し、一昨年に無事修了することが出来ました。子育てをしながらも大学院に行くこと決めた私が働きながら頑張ってきたのは、職場の仲間や上司が支えてくれたおかげです。今後はがん看護専門看護師の認定を目指し、三重県がん診療連携推進病院の指定を受けた松阪市民病院のがん看護の発展に貢献しながら、がん患者さんやご家族の力になれるように役割を果たしていきたいと考えています。

### 看護部からの一言

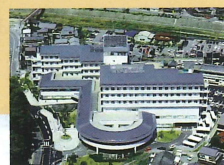
松阪市民病院は、306床の一般病床と感染症2床、緩和ケア20床の328床の病院です。呼吸器センター、消化器・内視鏡治療センターの開設に伴い、専門領域の質の向上に向けた取り組みに努力しています。また、キャリア開発窓口も開設しており「資格支援制度」を活用し、これまで以上に認定看護師、専門看護師などスペシャリストを養成しています。

新人看護師においては、看護技術への不安軽減のため、看護技術シュミレーションの用品を充実させ、いつでも手技の訓練ができる環境を整備しました。

また、ワークライフバランス推進に取り組んでおり「働き続けられる職場づくり」を目指し、育児休業や育児部分休業の制度を活用しながら現場に復帰する応援をしています。

1期生の木村看護師は、緩和ケア病棟に勤務しています。「資格支援制度」を活用し、働きながら、子育てもしながら大学院で学び「がん専門教育過程」を修了しました。当院は、「三重県がん診療連携推進病院」としてがんの診断から終末期を総合的にサポートしています。その中で、がんサポートチームの立ち上げメンバーとしても関わり活動しています。

当院は、急性期看護、終末期看護の緩和ケア、在宅看護の訪問看護ステーションと病める人々の全ての場を継ぎ目なく看護を提供できます。あなたの活躍の場が当院にはあります。



## 佐脇 あゆ美

## 三重県立こころの医療センター



平成19年度卒業  
現在看護師7年目  
アルコール治療専門病院

私が勤務する病院は348床の精神科の病院です。急性期、慢性期、認知症病棟、アルコール依存症専門治療病棟があります。現在の病院に就職を決めた理由は、学生時代の実習先であったことも大きいですが、精神科は患者との関わりが治療になるということに興味を持ったからです。患者とのコミュニケーションで戸惑うことや辛い経験もありますが、その体験を通して自分の気持ちの傾向や感情に気づき、関係性の中から学ぶことが日々たくさんあります。

また、一人の患者に対して、作業療法士や臨床心理士、精神保健福祉士など様々な職種が連携し関わっていること、そして、病院だけでなく地域との連携が重要であることを実感できる現場でもあります。

私は現在、三重県立看護大学地域交流センター認定看護師教育課程「感染管理」の研修に参加しています。精神科における感染管理は、環境や患者の特殊性を考慮した対策が必要になると感じていますし、これからさらなる発展をしていく分野でもあると思っています。

病院の基本理念として、「県民のより良いこころの健康をめざし、三重県の精神科医療をリードします。」とあるように、少しでも自分が貢献できればと思っています。

### 看護部からの一言

当センターは、昭和25年三重県立高茶屋病院として開設され、平成11年に改築と改名「三重県立こころの医療センター」となり、精神障がい者の発生予防から医療・社会復帰に対応した専門医療を提供しています。平成25年度医療計画は、4疾病に精神疾患が追加され、さらに平成26年度には精神保健福祉法が改正されます。精神医療の対象は統合失調症、感情障害、認知症、ストレス関連障害、薬物依存性障害、高次脳機能障害に加え、精神保健上の課題としての自殺問題や虐待なども対象となり、精神疾患を患いながらの高齢化や合併症の問題等、看護は、高度な看護技術と丁寧な対応が求められます。

看護学生さんの精神科臨床実習では、「患者看護師関係の基礎を学べた」と言われるよう、患者の尊厳、倫理観をさらに向上させていきたいと思っています。

## 粒来 沙織

## 伊賀市立上野総合市民病院



平成13年度卒業  
現在看護師8年目  
透析室

私は当大学を卒業後、大津赤十字病院で7年間勤務していましたが、出産を機に退職し6年近く専業主婦でいました。いつか看護師に復帰したいという気持ちはずっとありましたが、年々このブランクだから大丈夫かなという不安な気持ちが増していきました。そこで一番下の子供が1歳になる頃、本院で行っている「ナースのためのカムバックセミナー」に参加しました。現在の医療の変化を知ると共に、仕事復帰しようと思った。なぜ本院での仕事復帰を決意したかということ、託児所を利用できることだけでなく、ワークライフバランスを取り入れていること、どの職種のスタッフも接遇がよかったことでした。

専業主婦でいた間、子供の入院や祖父の死があり、患者の家族という違った立場で医療をみてきて、患者様を自分の家族のように大切にでき、信頼してもらえる看護師は素敵だなあと思いました。実際、透析室の先輩看護師は、長く通院されている患者様の日常生活にまで入りこみ、水分・食事制限について教科書レベルを超えて細かく説明しています。私も透析看護を深く知り、根拠に基づいた患者指導ができ、いつか透析看護認定看護師の資格も取得したいと思っています。

### 看護部からの一言

伊賀市立上野総合市民病院は北西部に位置する基幹病院です。当院では平成25年度より病棟機能再編成で急性期医療の充実と在宅医療との連携構築に取り組んでいます。とりわけがん医療においては地域がんセンター設立に向けて始動しております。

看護部では「手で触れて、視て、考える看護の実践」を理念にベッドサイドケアを重視しています。また、看護記録においては電子カルテ稼働に伴い患者さんを総合的に視る力、実践した看護を評価する力をつけたいとNANDA看護診断導入にむけて、悪戦苦闘の毎日です。4月に入職された先輩は交代勤務のメンバーになり日々頑張っております。

当院のカムバックセミナーに参加された粒来さんは子育て中ですが託児所にお子さんを預けながら看護の現場に戻ってくれました。とてもうれしく思います。今は働ける時間を有効に使い、看護する喜びを感じて欲しいと願っております。



# お知らせ

## 海外研修中の大西です。

私は8月から7ヶ月間、教員活動評価支援制度の海外研修で、オーストラリアのウロンゴン（Wollongong）大学Centre for Human & Applied Physiologyにきています。お世話になっているNigel Taylor先生は、体温調節を中心に環境生理学の研究がご専門で、国際学術雑誌の編集委員なども務めておられる優秀な方です。現在私は、大学院生の指導チームに加わって実験を進めたり、研究プランを相談したりしています。金曜日の夕方にはみんなでUniBar（学内のバー、写真）へ行って喉を潤します。こちらの人は自分の生活や楽しみを本当に大切に、ON・OFFがはっきりしています。広いキャンパスには森や池があり、珍しい鳥やポッサム(有袋類)、大きなトカゲにも出会います。このような研究とリフレッシュに専念できる機会を与えていただき、大学の皆様にはとても感謝いたしております。帰りましたら、この経験を生かして大学に貢献したいと考えています。それでは、See you soon.



UniBar（大学のキャンパス内にあるバー）にて、中央がNigel先生ご夫妻



## 附属図書館からのお知らせ

図書返却に「オレンジパックエクスプレス」をご利用ください！

最近、利用者の方から「遠方のため、図書を返却に行けない」、「緊急の用が入って返却に行く時間がなくなった」というご相談が多数ありました。またこのような理由から実際に図書の返却が遅れた方もいらっしゃいます。

そうした事態に対処するため、附属図書館では宅配便を利用した図書返却サービス「オレンジパックエクスプレス」をご用意いたしました。クロネコヤマトの取り扱いがある近くのコンビニエンスストア（セブンイレブン、サークルKサンクス、ファミリーマートなど）からの図書の返却ができます。このサービスは返却予定日の翌日に発送すればよいため、期間いっぱいご利用いただけます。来館の手間や時間の大幅な節約が可能です。費用は【参考】にある通り来館とほぼ同程度です。

【参考】『オレンジパックエクスプレス』の送料：640円

例1) 四日市駅から三看大まで往復する場合

距離約65km、移動所要時間2時間、必要費用約830円

例2) 松阪駅から三看大まで往復する場合

距離約46km、移動所要時間1時間30分、必要費用約590円

(いずれもガソリン150円/ℓ、燃費12km/ℓとして計算)

※ご利用を希望する方はお申し出ください。専用の箱(100円)と宅急便伝票を使用いただけます。

## 三重県学生献血推進連盟「みえっち」が「ベストプラクティスコンテスト」で入賞しました

三重県立看護大学献血推進サークル「さくらんぼ」を中心に立ち上げられた三重県学生献血推進連盟「みえっち」が、三重県主催の「ベストプラクティスコンテスト」(「学生」×「地域」の取組事例発表会 3月1日開催)で、「日頃の活動が多くの方の共感を集めた」ことにより「オーディエンス賞」を受賞しました。「みえっち」は、三重県内の学生が協力して、献血協力者を増加させるための活動を積極的に行っています。



## FM三重夕方ワイド「EVENING COASTER」に出演しています

FM三重夕方ワイド「EVENING COASTER」(月～木17:00～18:55)の番組の中のTOPIC(17:27頃からの5分コーナー)に本学の教員が出演し、心と体の健康に役立つ話題をお届けしています。



EVENING COASTER  
パーソナリティー  
富田 哲也  
(radio<sup>3</sup> アナウンサー)

この番組では、大人たちにおけて、気になる話題やニュースを伝えています。なかでも、健康に関することは関心が高く、「Let's Healthy Life」は人気コーナーのひとつです。しかし、放送時間は約5分30秒。この短い時間の中で、打合せもせず、ぶっつけ本番でお話し頂くことは、皆様に相当の御苦勞をおかけしているんだろうなあと、心苦しく思っています。

齋藤先生の回では「パソコン作業による健康被害」について取り上げました。まさにパソコンで仕事中のリスナーからは「思わず手を止めて、話に聴き入ってしまった…」といった感想を頂きました。皆様にお話頂いた内容が、リスナーに届き、健康について考えるきっかけになれば嬉しく思います。



薬理学・生化学  
林 辰弥教授

平成25年8月1日(木)

第4回は「血栓症」について、脳卒中などの予防法や、発症した際の対応などについての内容で放送しました。



精神看護学  
船越明子准教授

平成25年9月5日(木)

第5回は「自殺」について、三重県の現状と対策、そして私たち一人ひとりに何ができるかなどの内容で放送しました。



小児看護学  
前田貴彦准教授

平成25年10月3日(木)

第6回は「思春期」について、複雑な思春期の年代にある子どもが健全に「思春期の時代」を過ごせるよう、思春期の特徴や、子どもへの対応についてなどの内容で放送しました。



基礎看護学  
岡本恵里教授

平成25年11月7日(木)

第7回は多くの方が悩まれている「便秘」について、便秘のメカニズムから予防法、便の観察方法などについてお話ししました。



平成26年2月6日(木)

今回は毎日のようにニュースでも取り上げられている「インフルエンザウイルス」、「ノロウイルス」についての説明と、日頃の予防策として「手洗い」の方法について、ウイルスから自分を守ることができるような正しい方法を詳しくお話ししました。

平成26年3月6日(木)

今回は日本人女性の15人に1人になるという乳がんについて、早期発見の大切さを伝えるとともに「乳がん」の「自己検診」の方法についてお話ししました。



生体情報学  
齋藤 真教授

平成25年12月5日(木)

第8回は多くの方が利用しているパソコンによる健康障害について、私たちの健康を守りながら正しくパソコンとつきあう方法について人間工学の視点から考える内容で放送しました。



基礎看護学  
白石葉子准教授

平成26年1月2日(木)

第9回は国の健康づくり対策について、わかりやすくお伝えし、その中の「生活習慣の改善の中の身体活動」についてどのような生活活動が健康づくりのためによいのかという内容で放送しました。



# クラブ・サークル活動紹介

- ①活動日
- ②活動場所
- ③メンバー数
- ④代表者、顧問の氏名
- ⑤紹介



## greenteaサークル

- ①毎週月曜と木曜
- ②実習室1(更衣室奥)の畳スペース
- ③10名弱
- ④代表：山下真歩 顧問：二村良子先生
- ⑤毎週二回お茶を点て合いお茶菓子をいただくのが主な活動内容。ゆるいサークルですが、週一回お茶の先生に来ていただいて作法を習い、学祭への出店や春には卒業茶会も行います。初心者も大歓迎なので、気軽に見学いらしてください。一緒にゆっくりお茶を学んでいきましょう。

## ゆめたまご

- ①不定期(ボランティア募集がある時)
- ②不定期(内容によりけり)
- ③約10名
- ④代表：中沢桃子 顧問：多次淳一郎先生
- ⑤障がい者の方達の日常生活のお手伝い(買い物や食事の介助など)や、障がいのある子供たちとのふれあい、母子家庭の子供たちへの学習指導などの活動をしています！(^^)人の役に立つ実感を得られます♪近年メンバー減少中です(T\_T)



## 国際交流サークル

- ①不定期
- ②決まっていません
- ③44名
- ④代表：宮原彩乃 顧問：橋本秀実先生
- ⑤国際交流サークルでは、毎年春にタイの留学生の歓迎会を開いています。さらに京都旅行やホームパーティーを通して、タイの方と仲良くなれる楽しいサークルです。



## バレーボールサークル

- ①火曜日、木曜日
- ②体育館
- ③新3年生→5人 新2年生→2人(計7人)
- ④代表：澤井菜依 顧問：水谷あや先生
- ⑤こんにちは、バレー部です。私たちは、毎週火曜日と木曜日の18時から体育館で練習を行っています。初心者の人も経験者の人もいて、3年生・2年生、合わせて7人しかいませんが、試合にも出るので、みんなそれぞれが一生懸命に練習に励んでいます。部活ではありますが、週二回しかなく、楽しくのんびりとした部活です。



## ひだまりサークル

- ①毎週木曜日
- ②学生ホール
- ③53人
- ④代表：安藤玲奈 顧問：林 辰弥先生
- ⑤ひだまりサークルは、主に生協のお手伝いをしたりしています。大きなイベントとして、七夕に生協の方々の協力のもと、「ゆびた祭り」という祭りを開催しています。毎年、近所の子供たちであふれ、一緒に遊んだり食べ物を販売したりしています。他にもハロウィン、クリスマスパーティーをしたり、盛り上がるイベントいっぱいのもっとも楽しいサークルです。



## テニスサークル

- ①毎週水曜、土曜日の午後4時～8時
- ②三重県立看護大学テニスコート
- ③約30人
- ④代表：泉地美佑 顧問：大西範和先生
- ④初心者も経験者もいて、みんなで楽しくテニスをしています。練習したり、男女混合ダブルスの試合をしたりします。初心者でもペアの人が教えてくれるから安心です。雨の日は、体育館でバドミントンや卓球、バレーなどいろいろなスポーツをして遊んでいます。テニス合宿や遠足、忘年会などイベントもたくさんあり、とても楽しく活動しています。ぜひ遊びに来てください。



## 献血推進サークル「さくらんぼ」

- ①毎月第二土曜日 定例会  
9月や12月のイベントの際やその準備期間の土日
- ②定例会：赤十字血液センター  
イベント：四日市、鈴鹿、松阪など。血液センターから送迎あり
- ③21名
- ④代表：長谷川有紗 顧問：林 辰弥先生
- ⑤私たちは、赤十字の血液事業を支援するボランティアです。みえっちは他大学も参加する大きな組織。その中心として活動中！活動内容は、献血の呼び込みや、献血イベントの運営、装飾物の作成などを行います。また、普段は関れない赤十字の人たちとも知り合うことができ、さらには東海北陸地区や全国での会議で様々な交流を持つことができます。私たちと楽しく活動しましょう！



## ミストン

- ①毎週火曜日 18:00 ~ 20:00 (不定期)
- ②三重県立看護大学体育館
- ③約20人
- ④代表: 森 有希  
顧問: マイルズ・オブライエン先生
- ⑤ほとんどが初心者で行っているサークルです。各学年の授業や課題などによって活動したりしなかったりと自由に楽しんでいます。先輩後輩のしきたり無し! めんどくさい伝統なし! 友達同士で楽しむ場としては是非参加してください!

## ハッピースポーツサークル

- ①毎週月曜日の6時
- ②体育館
- ③20人ぐらい
- ④代表: 豊島 亮  
顧問: 脇坂 浩先生
- ⑤こんにちは、僕たちはハッピースポーツサークルです。毎週、体育館でみんながやりたいスポーツを毎回その場で決めてやっています。バスケットやサッカー、バドミントンなどいろんなスポーツをして、みんなと楽しく運動をしています。みなさんと楽しくスポーツができることを楽しみに待っています。



## 200UPサークル

- ①月1回
- ②ボーリング場
- ③24名
- ④代表: 田崎友紀  
顧問: 杉野健士郎先生
- ⑤私たち、200UPサークルは、ボーリングを通して学生間の交流を深めることと先生方にも参加してもらい、学生と教員の交流を深めることを目的に活動しています。先輩、同期、後輩、教員と楽しくボーリングしています。



## ソフトテニスサークル

- ①毎週木曜日
- ②テニスコート
- ③代表: 原 美咲 顧問: 浦野 茂先生
- ④15名
- ⑤こんにちは。ソフトテニスサークルです! みんな明るくて元気なメンバーが集まっています! 初心者の方も居るので初めてテニスする方でも気軽に楽しむことができます! 是非興味ありましたら毎週木曜日テニスコートにて行っておりますので是非遊びに来てください!

## ニコニココミュニケーションサークル

- ①未定(主に6月、10月、1月、3月)
- ②主に、生活援助室
- ③26人
- ④代表: 西川 凜  
顧問: 小菅育恵先生
- ⑤私たちはニコニココミュニケーションサークル、通称「ニコサー」と呼ばれています。活動内容はみんなでパーティーをし、その様子を動画に記録して1年の活動の終わりにその様子を鑑賞するというものです。活動日、活動場所は未定というものですごく自由で楽しいサークルとなっています。名前の通りみんなが笑顔でいる、そんな暖かい場所です!



## グリンピース

- ①3年生13名
- ②1回~2回/月
- ③生活援助室
- ④代表: 加藤清香  
顧問: 井上直子先生
- ⑤こんにちは。料理サークル、「グリンピース」です。私たちは、料理を楽しく作ることを目的として、季節やイベントに合わせた料理やお菓子の内容を皆で考え、協力しながら活動をしています。また、自分の知らない料理をつくる機会を得ることができるため、生活の知恵を学ぶことができます。



## セラピィサークル

- ①不定期
- ②学内各所
- ③3名
- ④代表: 濱口彩子  
顧問: 山路由実子先生
- ⑤セラピィサークルでは、学内の玄関やトイレなど、学生の皆さんの目のつく所に小さな癒しを提供できるような活動をしています。また、小さなプランターでハーブを育て、お茶会をしたりもしています。活動日が決まっていないため、自由に活動できるところも魅力です。自分たちも楽しみながら、学内の皆さんの癒しを作っていきます!



## Campus CUBE

- ①隔週の水曜日(18時から)
- ②FM三重
- ③9人(男子→4人、女子→5人)
- ④代表: 加藤悠華 顧問: 齋藤 真先生
- ⑤Campus CUBEは三重県立看護大学と他県内3つの大学が参加しているラジオサークルです。大学生の関心のあることや学生が考えていることなどを三重県内や東海に住む老若男女に知ってもらおうラジオを…  
個性的な部員たちと一緒に番組を盛り上げていこう!  
気になった人は、毎週金曜日8時半からの放送をチェック!



# 行事予定

## 平成26年度 前期大学行事予定

4月	2日	入学式
	7日	前期授業開始
	下旬	地域交流センター出前授業・公開講座講師派遣等の申込み受付開始 認知症ケア看護師養成研修申込み受付開始
6月		夢緑祭
7月	5日	第1回認知症ケア看護師養成研修開始 (7/5, 7/19, 8/2, 8/16, 9/6, 9/20) *第2回は10月～12月
	26日	オープンキャンパス
	31日	前期授業終了
8月	5日	みえアカデミックセミナー
9月	6日	H27年大学院入学試験
	11日	H27年大学院入学試験合格発表 中旬 教育懇談会

※この行事予定は3月14日現在のものです。  
今後追加・変更される行事があります。  
※行事の詳細については、大学HPでお確かめください。

## 附属看護博物館企画展

### 第2期展示「三重の助産師を語る 安部助産師に関わる所蔵品から」

開学15周年記念事業の一環として平成24年5月8日(火)に開館した附属看護博物館は、平成25年11月4日(月)に「三重の助産師を語る 安部助産師に関わる所蔵品から」をテーマにリニューアルしました。

安部ゆきの助産師は、戦後まもなく鈴鹿市で助産院を開設し、亡くなる少し前まで日本最年長助産師として、約60年間現役で活躍されました。安部助産師の道具や関係資料を中心に展示し、三重県における助産師の仕事の一端を紹介しています。



## インターネット出願を実施しています。

本学では、平成25年度入学者選抜試験より、全ての入試区分でインターネットによる出願が可能となりました。インターネット出願では、手元に出願書類がなくても、インターネットに接続したパソコンを利用して出願が可能であり、出願書類を取り寄せる必要はありません。このような、受験生や保護者へのメリットはもちろんのこと、紙による出願書類の作成数を大幅に削減することにより、環境保護にも貢献しています。



## 特別入試について

平成25年11月9日(土)に地域推薦入試、11月23日(土)に一般推薦入試・帰国子女入試・社会人入試をそれぞれ実施しました。地域推薦入試と一般推薦入試あわせて募集人員35名に対して、志願者数67名(1.9倍)があり、例年とほぼ変わらず多くの皆さんが受験してくださいました。特別入試では、特に三重県の医療・看護に貢献する強い意志を持った学生を求めています。少し早いですが、合格者35名が本学で学んだ後、県内の臨床で活躍することにご期待ください。



### 本学キャラクター「みかんちゃん」

三重県立看護大学の略「三看大(みかんだい)」の「みかん」に学生たちが持つ「優しさ」をイメージした大学キャラクターです。平成21年の法人化を機に学内からの公募で選ばれ活躍しています。



### 学章の由来

看護のイメージを高めてほしいという願いと、未来に向かって成長していく若者の姿を大小2つの翼とナースの「N」をモチーフにして表現しました。



### 「大学基準協会」の定める「大学基準」に「適合」と認定されています。

認定マークとは…法で定められた認証評価機関である大学基準協会の大学評価を受けて認定された大学に交付されたものであり、その大学が常に自己点検・評価に取り組んでいること、そして社会に対して大学の質を保証していることを示すシンボルです。



### 本学は環境配慮の国際規格を看護系大学で初めて認証取得しました。

看護系大学で初めてISO14001を認証取得。地球環境と共生し調和するエコキャンパスをつくるため、ISO14001に基づく環境マネジメントシステムを構築し、地球環境に優しいキャンパスづくりを積極的に推進しています。

ISO14001とは…ISO(国際標準化機構)環境保全のための国際規格ISO14000シリーズのうち、ISO14001は企業や団体が事業活動を行う際に、環境に対する負荷を軽減する事業活動の一部として組み込み、継続的改善を行うための環境マネジメントシステムについて定めています。



## 公立大学法人 三重県立看護大学

〒514-0116  
三重県津市夢が丘1丁目1番地1  
TEL 059-233-5600(代)  
FAX 059-233-5666  
<http://www.mcn.ac.jp/>

